

平成 28 年度 事業 報 告 書

2016 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人ゴールドリボン・ネットワーク

1 事業の成果

期間中、平成 28 年度事業計画に基づき活動を行い、特に小児がん患者とその家族の支援に重点をおいた。患者家族からニーズの高い、治療のために遠隔地の病院へ通う場合の交通費・宿泊費の支給を行う「交通費補助金制度」は 3 年目を迎え、今年度は 52 家族に給付した。従来の東日本大震災に加え、熊本の被災地の小児がん経験者の高校生への奨学金制度もスタートし、合わせて 20 名に奨学金の支給を行った。全国の高校 3 年生の小児がん経験者を対象とした新大学生向けの予約型奨学金は、昨年度に奨学生として決定した 14 名への支払を行い、次年度の奨学生の選考し、9 名を決定した。又、本年度より当法人が主催するサマーキャンプに代えて、小児がん患者とその家族を支援する団体が行う宿泊行事やイベントへの助成を行うこととし、7 グループに助成を行った。なお小児がん経験者の自立支援一つとして、就労支援活動を行うことを新たに決め、体制作りを始めた。この活動が軌道にのるには時間がかかると思われるが、今後力をいれていきたい。小児がんの治癒率向上のための研究開発支援として、公募により、転移性ユーイング肉腫の研究等 7 研究に、更に基礎研究のために JCCG (日本小児がん研究グループ) に助成した。白血病分野については治療研究のための海外留学に助成金を支出した。小児がん啓発活動としては 4 月の東京のゴールドリボン・ウォーキング、11 月は大阪のゴールドリボンウォーク&ジョグの開催に対して支援を行った。小児がん情報の発信に関しては、インターネット、広報誌、会報等による発信を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
小児がんの治癒率向上・小児がん経験者の生活の質向上のための研究開発支援	研究助成は一般公募として、転移性ユーイング肉腫の研究等 7 研究に、更に JCCG (日本小児がん研究グループ) へ基礎研究への助成を行った。白血病分野については治療研究のための海外留学費用を助成した。	通年	全国	3 名	全国	17,114
小児がん支援のためのゴールドリボン普及事業	小児がんに関して一般の方の理解を深めるため 4 月に日比谷公園で行われたゴールドリボン・ウォーキング、11 月に大阪城公園で行われたゴールドリボンウォーク&ジョグの開催に対する支援を行った。通年通しては飲料会社、食品、物品等との提携を通して一般の方への認知を高める活動も行った。	通年	全国	6 名	全国	22,552

<p>小児がんに関する情報収集並びに情報提供事業</p>	<p>広く当法人の活動を知らしめるため、事業報告書、会報を作成した。又、ホームページ・Facebook を中心に情報配信を継続して実施、またホームページ内で昨年より開始した小児がん経験者限定に配信するコンテンツ「サバイバーネットワーク」は会員登録は 160 名と増えた。又 N P O 法人いのちをバトンする会と共同で中学生向けの小児がんに関する副教材を作成、80 校以上の中学校で授業が行われ、13,000 冊が配布された。更に公益財団先端医療振興財団の小児がん情報の更新への支援を行った。</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>3 名</p>	<p>全国</p>	<p>5,541</p>
<p>小児がんの患児および家族への支援並びに入院患児の QOL 向上</p>	<p>小児がん患児および家族への支援として、被災した東北 3 県対象の小児がん経験者の高校生への奨学金制度を継続。対象に本年は被災地である熊本を加えた。全国の小児がん経験者大学生への奨学金も継続し、新たな奨学生の選考を行った。小児がん患児とその家族に遠隔地の病院への治療に行くための費用支援を行った。患者関係団体が実施する宿泊行事、イベント等への支援を行った。なお、小児がん経験者の自立支援の一つとして就労支援の活動を始めた。</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>6 名</p>	<p>全国</p>	<p>20,816</p>